

(対象期間：2018/5/7～5/11)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2018年5月11日)**

【株式市場】

週初は前週に下落した反動から反発しましたが、ルピア安の進行などが嫌気され週半ばにかけて再度下落しました。その後は、インドネシア中央銀行（BI）が通貨安圧力を緩和させるために利上げの可能性を示唆したことなどを受けて、株式市場は買い戻しが優勢となり、週間で上昇となりました。セクター別では消費財、金融、鉱業などが上昇した一方で、農業、インフラ・公益・運輸などが下落しました。

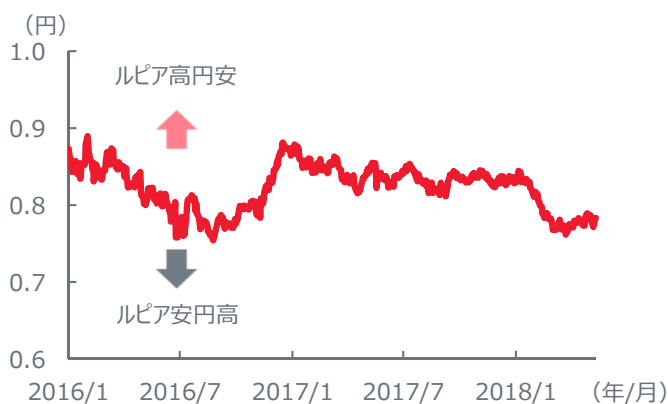
2018/05/04	2018/05/11	変化率
5,792.35	5,956.83	+2.84%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2018年5月11日)**

【債券市場】

週初は1-3月期の実質国内総生産（GDP）統計が予想を下回ったことや、8日に行われた国債入札が需要の弱さから不成立となったことが嫌気され10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。週後半にはBIが利上げを示唆したことや、米国の10年国債利回りが低下基調で推移したことを背景に利回りはやや低下しましたが、週間では小幅な上昇となりました。

2018/05/04	2018/05/11	変化幅
7.020	7.142	+0.122

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2018年5月11日)**

【為替市場】

前半は1-3月期の実質GDP統計が予想を下回ったことや国債入札が需要の弱さにより不成立となったことが嫌気され、ルピア安が進行しました。その後はBIが利上げの可能性を示唆したことや、米国の消費者物価指数（CPI）が予想を下回ったことを背景に世界的に米ドル安の動きとなり、ルピアも買い戻しが入りました。週間でルピアは対米ドル、対円ともに小動きとなりました。

2018/05/04	2018/05/11	変化率
0.779	0.783	+0.47%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。